

高等学校 令和 8 年度(2 学年) 教科 商業 科目 ビジネス・スキル

教 科： 商業 科 目： ビジネス・スキル 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 1 組～ 5 組

教科担当者：（1 組：幕田・吉持）（2 組：上野・田中）（3 組：高石・田中）（4 組：片岡・田中）（5 組：高石・田中）

使用教科書：（ ）

使用教材：（ビジネス計算実務検定模擬問題集 2 級、ビジネス文書実務検定模擬問題集 2 級、その他自校作成教材）

教科 商業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 ビジネス・スキル の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する計算及びビジネス文書の作成、ソフトウェアの活用などについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、対応策を考え、それを表現する力を身に付けている。 ビジネス文書の作成に対する要求を分析し、提供されている資料などに基づいて、文書で発信し、評価・改善する能力を身に付けている。 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、創造的に解決しようとしている。	ビジネスに関する計算、ビジネス文書の作成、各種アプリケーションソフトウェアの利用について自ら学び、適切な情報の発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	電子記録債権のしくみや割引の計算、代価や建値など商品売買にかかわる計算、手数料や複利の利息計算、減価償却の計算について実務に即して理解し、関連する技術を身に付ける。	ビジネス計算に関する スキルの向上 ○1 年次に学習した内容の復習 ○発展的な学習 ○ビジネス計算実務検定試験 過去問演習	【知識・技能】1 年次の学習内容を元にさらに発展的なビジネスに関する計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】実務における取引に関する課題を発見し、対応策を考え、それを表現する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	複雑な表の作成、画像データなど様々なオブジェクトの挿入、校正記号による文書校正など指示に従って体裁を整えて文書を作成する知識と技術を身に付ける。	ビジネス文書作成に関する スキルの向上① ○1 年次に学習した内容の復習 ○発展的な学習	【知識・技能】1 年次の学習内容を元に発展的なビジネス文書の作成について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】ビジネス文書の作成にあたり要求を分析し、提供されている資料などに基づいて、文書で発信し、評価・改善する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネス文書の作成について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
		定期考査		○	○	○	1
2	表内のデータの並べ替え、合計計算、図形やテキストボックスの挿入、テキストファイルからのデータ挿入、ドロップキャップや段組みなどの高度なレイアウトデザインを含んだ文書を指示に従って体裁よく作成する知識と技術を身に付ける。	ビジネス文書作成に関する スキルの向上② ○さらに発展的な学習 ○ビジネス文書実務検定試験 過去問演習	【知識・技能】さらに発展的なビジネス文書の作成について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】さらに発展的なビジネス文書の作成にあたり、要求を分析し、提供されている資料などに基づいて、文書で発信し、評価・改善する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】高度なビジネス文書の作成について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	19

学 期	多重判断文、論理演算子、日付や時刻の計算、ピボットテーブル、多様なグラフの作成などの表計算ソフトウェアの高度な機能を理解し、様々な集計や分析の方法を身に付ける。	表計算ソフトウェアの活用スキルの向上① ○発展的な学習	【知識・技能】表計算ソフトウェアの応用的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、表計算ソフトウェアの高度な機能を活用して適切に判断し、解答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】表計算ソフトウェアの高度な機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
		定期考査		○	○	○	1
3 学 期	複雑な文字列操作関数、フィルタによる抽出・抽出後の処理、複数シートの利用など計算ソフトウェアの高度な機能を理解し、様々な分析の方法を身に付ける。	表計算ソフトウェアの活用スキルの向上② ○情報処理検定試験 過去問演習	【知識・技能】表計算ソフトウェアの応用的な知識・技術が身に付いている。 【思考・判断・表現】思考を深め、表計算ソフトウェアの高度な機能を活用して適切に判断し、解答することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】表計算ソフトウェアの高度な機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	これまでに得られたスキルを元に、各検定・各級の模擬試験問題を作成し、発表する。 グループワークで行う。	総合演習と振り返り 以下のグループワークを行う 模擬試験問題集の基本的な問題をベースに、各検定、各級の模擬問題を作成、クラス内プレゼンテーションを行う。	【知識・技能】これまで学んで得られたスキルを元に、各検定・各級の模擬問題を作成する能力が身に付いている。 【思考・判断・表現】グループで協力し、適切なプレゼンテーション資料を作成、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】これまで学んで得られたスキルを元に、適切なアウトプットとしての模擬問題作成と情報の発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
		定期考査		○	○	○	1
							合計
							70